

# 世界共通通貨を作ろう！

仙台第三高等学校 経済 F9班

## 1. 序論

基本的には  
一つの国に  
一つの通貨

現在の問題点

- ・グローバル化が進み、国を超えた貿易が増加する中、通貨が違うことにより、貿易に手間がかかる。

共通通貨を作ってみてはどうか！！

## 2. 材料と方法

書籍：田中素香「ユーロ 危機の中の統一通貨」より

EU連合では、経済実績の格差により、国によって1ユーロの価値が違ふ。  
よって、2009年の「ギリシャ危機」のような、EU全体の危機につながる事態が起こりうる。  
このことから、統一した通貨を使うのには危険やデメリットがある。

書籍：吉本佳生、西田宗千佳「ビットコインのからくり」より

ビットコインのような仮想通貨が新しい国際通貨として成功する可能性は十分にある。

ウェブサイト：ユーロについて 通貨を統一するメリットとデメリット～知っている人と人に話せるお金の雑学～ より

各国の経済は、各国が自国の通貨を使用してそれぞれが金融政策をして調整しているため、統一通貨だと、一つの国の不況が全世界に広がる。

(例)

金融政策ができない

不景気なのに金利が上がり、失業者であふれる

不景気

日本

好景気

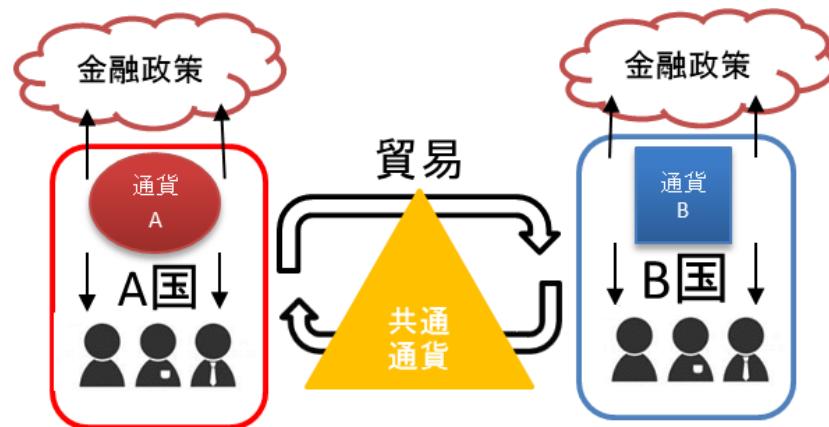
アメリカ

アメリカの金利引き上げ

## 4. まとめ・結論

結果より、国内での買い物は自国の通貨を使い、海外での買い物(貿易や旅行など)は共通通貨を使うことによって、ビットコインのメリットを良いとこどりできると考える。

自国の通貨でそれぞれの金融政策を行い経済の安定化を図りグローバルな場では共通通貨でのやりとりをすることで、現在のような両替の手間がなくなりスムーズなやり取りが可能になる。



## 3. 結果と考察

世界で一つの共通通貨を作ると以下のようなデメリットが発生する。そのため自国での生活用の通貨を使って金融政策を行い共通通貨を使って貿易や海外旅行をするといったように、用途によって通貨を分ければよいと考えられる。

世界中で同じ一つの通貨を使うことは難しい

デメリット

- ・金融政策ができない
- ・中央銀行のような管理者がない

解決するには…

海外との取引だけに使える通貨と自国の通貨を二つ使い分ければよい。

ビットコインなら、今日でも使われているように、これらのデメリットをカバーしながら「第2の通貨」として共通通貨のような役割をはたせるのではないかと。

ビットコインと自国の通貨の交換所を、各地に作ったり、ネット上で通販のようにビットコインを手に入れられる環境を作れば、わたしたちの買い物の範囲が広まり、さらにより良い社会になるのではないかと。

## 参考文献

- 吉本佳生・西田宗千佳 (2014) 『暗号が通貨になる「ビットコイン」のからくり 「良質」になりうる3つの理由』、講談社  
田中素香 (2010) 『ユーロ 危機の中の統一通貨』、岩波新書、<https://news.vesta.onl/2016/05/18/lifestyle-money/>  
ユーロについて 通貨を統一するメリットとデメリット～知っている人と人に話せるお金の雑学～ (最終閲覧日：2018年9月21日)